第7回
東京外環地下水検討委員会
主な意見

1. 地下水流動保全工法について

○中央JCTにおいて、現地調査結果を踏まえた検証に伴い追加対策した条件で、自然地下水位からの地下水位変動量が、±0.1m未満となるような性能を満足し、集水・涵養井戸周辺に目詰まりが生じないように設計されていることから問題ないとする。

○中央JCT・東八道路IC周辺地域を中心として、深層地下水位の経年的な上昇が認められるのは、周辺に地下水揚水施設が多く点在しており、近年の揚水量減少が関係している可能性がある。なお、工事着手以前から認められる現象であることから、工事による影響ではないものとする。